



そして辻彩奈の絶品プロコフィエフ
アルプス山脈の壮大な交響曲
アルフテルが得意とする大編成



ヴァイオリン：
辻 彩奈*
Violin: Ayana Tsuji*
©Makoto Kamiya

第 688 回

定期演奏会



指揮：
ペドロ・アルフテル
Conductor:
Pedro Halffter
©Unai P. Azaldegui

京都市交響楽団

The 688th Subscription Concert of the City of Kyoto Symphony Orchestra

2024

4/13 日 午後2時30分開演
(午後1時30分開場)

Sat, April 13, 2024 / 2:30PM

プロコフィエフ：ヴァイオリン協奏曲 第2番 ト短調 作品63*

R. シュトラウス：アルプス交響曲 作品64

Prokofiev: Violin Concerto No.2 in G minor op.63*
R. Strauss: Eine Alpensinfonie op.64

京都コンサートホール Kyoto Concert Hall

京都市営地下鉄烏丸線「北山」駅下車、出口1・3番から南へ徒歩約5分

2024.2/17日から発売

入場料

¥5,500円 ¥5,000円 ¥4,000円 ¥3,000円 ¥2,000円 (舞台後方席)
U22 (当日残席がある場合のみ発売) ¥2,000円 ¥1,500円 ¥1,000円 ¥1,000円

※「U22」は22歳以下のお客様が対象です。開演1時間前から発売(当日券売場にてお問い合わせください)。電話や窓口での事前予約はできません。席種は選べますが、座席指定はできません。ご購入及びご入場の際には年齢の確認できる証明書をご提示ください。

チケット
ご予約

●京都コンサートホール (075) 711-3231 ●ロームシアター京都 (075) 746-3201
●24時間オンラインチケット購入 <https://www.s2.e-get.jp/kyoto/pt/>
●チケットぴあ <https://t.pia.jp/> Pコード252-726
●ローソンチケット <https://l-tike.com/> Lコード55333

お問い合わせ

京都市交響楽団 (075) 222-0347 <https://www.kyoto-symphony.jp/> →
京都コンサートホール (075) 711-3231 <https://www.kyotoconcerthall.org/>
◎未就学のお子様のご入場はお断りいたします。
◎都合により曲目、出演者等が変更となる場合がございます。



◆1歳以上未就学のお子様は「託児ルーム」(有料・要予約・定員10名)をご利用ください。(お子様お1人につき1,000円/2024年4月5日までに京響075-222-0347へお申し込みください)
◆10枚以上のチケットお申し込みには団体割引(10%OFF)があります。京響(075-222-0347)までお問い合わせください。
◆障がいのある方ご本人及び介助の方1名に限り1割引いたします。京都コンサートホール・ロームシアター京都のみで取扱います(窓口で手帳等の証明書をご提示ください)。



主催：公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団 京都市

協賛：ローム株式会社

協力：株式会社ドルチェ楽器

後援：(株)エフエム京都

発行：公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団

美しいひびき、感動にみちた
音楽との出会いをお届けします。



The 688th Subscription Concert of the City of Kyoto Symphony Orchestra

スペイン生まれのペドロ・アルフテルはドイツ、ウィーンで指揮を学んだ後、ニューヨークで作曲も学んだ逸材。ニュルンベルク響の首席客演指揮者、王立セビリア響の芸術監督、セビリアのマエストランサ劇場の芸術監督などを歴任しています。オペラに精通しており、レパートリーも多数。ドイツ・グラモフォンからもCDをリリースしていて、現在世界で活躍する実力派の指揮者の一人。そんなアルフテルが京響デビューに選んだのが「アルプス交響曲」。この作品はリヒャルト・シュトラウスが若い頃にアルプスを登山した経験をもとに作曲され、アルプス登山へ出発の「夜」から始まり、「日の出」、「登り道」、「森に入る」と登山の行程に沿って曲が進み、「日没」、「余韻」、「夜」で締め括られます。あたかもシュトラウスと一緒に登山しているかのような壮大な交響曲を体験してください。ソリストの辻彩奈は、いま世界で最も注目されるヴァイオリニストの一人。2016年モントリオール国際音楽コンクール優勝。そのスケールの大きい演奏でプロコフィエフを制覇する瞬間に是非対面してください。

指揮 ◆ ペドロ・アルフテル

ニュルンベルク交響楽団の首席客演指揮者、パイロイト音楽祭ユースオーケストラの客演指揮者、王立セビリア交響楽団の芸術監督、マエストランサ劇場の芸術監督を歴任。これまでに、フィルハーモニア管弦楽団、バイエルン放送交響楽団、ドレスデン・フィルハーモニー管弦楽団、ベルリン・ドイツ交響楽団、トゥールーズ・キャピトル国立管弦楽団、モントリオール交響楽団、ベルリン・シュターツカペレ、ベルリン放送交響楽団、ドレスデン・フィルハーモニー管弦楽団、ロッテルダム・フィルハーモニー管弦楽団、シュトゥットガルト・フィルハーモニー管弦楽団のほか、スペインの主要オーケストラを指揮している。オペラでは、ベルリン国立歌劇場、バイエルン国立歌劇場、エッセン歌劇場、ハンガリー国立歌劇場、ビルバオ歌劇場、セルビア歌劇場、ミュンヘン・オペラ・フェスティバル等に登場。シュレーカー《はるかなる響き》のスペイン初演も行うなど、ドイツ・オーストリア圏の作品をスペイン国内に数々紹介している。作曲家としても活躍目覚ましく、マドリッド国立音楽堂、ドルトムント・フィルハーモニー、カーネギー・ホールをはじめとするコンサートホールで、マサチューセッツ交響楽団、ノイス・ドイツ・チェンバー・アカデミー、シュトゥットガルト室内管弦楽団、アンサンブル・アンテルコンタンポラン等によって演奏されている。また、ワーグナーの《タンホイザー》、《ジークフリート》、《神々の黄昏》の交響曲版も特筆に値する。マドリッド生まれ。ドイツの名門校シュレ・シュロッス・ザーレムで学び、カール・エスターライヒャー、ブルーノ・ヴァイル、カルロス・カルマー、イリヤ・ムーシン、フェルディナント・ライトナーの元で指揮の研鑽を積む。その後、ウィーン国立音楽大学でレオポルト・ハーガーに師事し、ニューヨークで作曲を学んだ。



©Unai P. Azaldegui

ヴァイオリン ◆ 辻 彩奈

1997年岐阜県生まれ。東京音楽大学卒業。2016年モントリオール国際音楽コンクール第1位、併せて5つの特別賞を受賞。3歳よりスズキメソッドにてヴァイオリンを始める。11歳にて名古屋フィルハーモニー交響楽団と共演。これまでに、モントリオール交響楽団、スイス・ロマン管弦楽団、ベトナム国立交響楽団、NHK交響楽団、読売日本交響楽団、東京都交響楽団、東京交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団、大阪フィルハーモニー交響楽団、広島交響楽団、九州交響楽団などと共演している。また室内楽においては、チェロの堤剛、ピアノの江口玲、伊藤恵、萩原麻未、阪田知樹、藤田真央、マルタ・アルゲリッチの各氏らとの共演を行っている。2017年「岐阜県芸術文化奨励賞」、2018年「第28回出光音楽賞」、2023年「第24回ホテルオークラ音楽賞」を受賞。ヴァイオリンを小林健次、矢口十詩子、中澤きみ子、小栗まち絵、原田幸一郎、レジス・パスキエの各氏に師事。2019年4月、ジョナサン・ノット指揮/スイス・ロマン管弦楽団とジュネーヴおよび日本にてツアーを実施し、その艶やかな音色と表現によって各方面から高い評価を得た。2020年、自らが権代敦彦に委嘱した「Post Festum」を世界初演。コロナ禍にあって国内公演の代役で幅広く活躍したことは、レパートリーを広く拡充すると共に、経験を深く積むことにつながった。使用楽器は、NPO法人イエローエンジェルより貸与の Joannes Baptista Guadagnini 1748 である。



©Makoto Kamiya

京都市交響楽団

1956年に創立し、日本で唯一、自治体が設置し、運営に責任を持つオーケストラ。2015年、第12代常任指揮者の広上淳一とともに「第46回サントリー音楽賞」受賞、同年6月、広上淳一指揮のもとヨーロッパ公演で成功を取めた。平成28年度地域文化功労者表彰、2017年「第37回音楽クリティック・クラブ賞」本賞等を受賞。2020年4月、第13代常任指揮者兼芸術顧問に広上淳一（2022年3月まで）、首席客演指揮者にジョン・アクセルロッド（2023年3月まで）が就任。2008年4月から2022年3月まで14年間にわたり常任指揮者を務めた広上淳一のもとでは、数々の名演を生み出して黄金時代を築き上げた。2023年4月から第14代常任指揮者に沖澤のどかが就任、さらに2024年4月からは首席客演指揮者にヤン・ヴィレム・デ・フリースが就任。京響は今、文化芸術都市・京都にふさわしい「世界に誇れるオーケストラ」として更なる前進を図っている。



©井上写真事務所 井上麻和

次回予告



ヤン・ヴィレム・デ・フリース
©Marcel van den Broek



デヤン・ラツツィク
©Lin Gothoni

2024.3/15(金)から
発売！
第689回
定期演奏会

〈首席客演指揮者 就任披露演奏会〉 新首席客演指揮者、ヤン・ヴィレム・デ・フリース就任!

会場 京都コンサートホール 指揮 ヤン・ヴィレム・デ・フリース(首席客演指揮者) 独奏 デヤン・ラツツィク(ピアノ)*

2024.5/24(金)午後7時30分開演 **フライデー・ナイト・スペシャル**
(休憩なし)

曲目
モーツァルト: ピアノと管楽器のための五重奏曲 変ホ長調 K.452*
モーツァルト: セレナーデ 二長調 K.239「セレナータ・ノットルナ」
モーツァルト: セレナーデ 長調 K.525「アイネ・クライネ・ナハトムジーク」

入場料
S 4,000円 A 3,500円 B 3,000円
C 2,000円 D 1,500円(舞台後方席)

♪開演前
プレトーク
あり

2024.5/25(土)午後2時30分開演

曲目
ベートーヴェン: ピアノ協奏曲 第4番ト長調 作品58*
シューベルト: 交響曲 第1番 二長調 D.82

入場料
S 5,500円 A 5,000円 B 4,000円
C 3,000円 D 2,000円(舞台後方席)